



福山民報社  
福山市津之郷町  
津之郷 970-1  
Tel.084-952-2662  
FAX084-952-2660



安心して子どもを生み育てられる福山に

# 保育行政の充実を

福山保育団体連絡会は  
5月26日、「保育予算を増  
やし保育行政の充実を求め  
る要請書」と7426筆の  
署名を市長に提出しまし  
た。保育士など7人が市役  
所を訪れ、保育施設担当部  
長ら4人と懇談しました。

## 保育士を増やして

懇談では、保育士が「4  
歳児以上は30人の子ども  
を保育士1人でみる。一人  
ひとりを大切にしている保  
育は今の配置基準では難し  
い」「0歳児は3人を1人で  
みる。発達に差があり、食  
べる早さなども違うので誤  
嚥に気をつけながら3対1の  
食事介助は大変」と訴え、  
配置基準を改善して保育士  
を増やすよう求めました。



署名を手渡す中川協子代表

また、「保育士が不足す  
るため人材派遣会社などを  
利用すると、派遣料は正規  
の管理職なみにお金がかか  
り、紹介料は支払う年給の  
3割にもなる。市が保育士  
のマッチングをしてほしい」  
との要望が出されました。

保育施設課長は「今の配  
置基準では非常に大変だと  
思う」と認めつつも、「保育  
士の処遇改善など対策を国  
に求めている」との説明に  
とどまりました。マッチン  
グについては「みよし市議  
からも他市の事例を聞いて  
いる」と言及し、「様々な意  
見を聞きながら考えたい」  
と前向きに答えました。

## 子育て支援の充実を

共働きで1歳の子を育て  
る保育士は「乳児の保育料  
は高いと実感した。保育料  
が家賃とほぼ同額で、貯金  
もできない」と切実な実態  
を訴え、「子育てするなら  
福山と胸をはれるよう、保  
育料の引き下げや給食副食  
費の補助を」との声が上が  
りました。

## 現場の声を市政に

保育士として働いてきた  
みよし市議は、「6月市議  
会でも、現場の声をもとに  
保育行政の充実を求めてい  
きたい」と述べました。

## 福山医療生協「無料広場」を開催

福山医療生活協同組合は、コロナ禍で困窮する人を支  
援しようと「食料&日用品無料広場」の開催を継続して  
います。6回目となる5月31日の広場を取材しました。

福山医療生協の施設「み  
んなの家とんどん」(木之庄  
町)の前にテントが張られ、  
米や食料品、洗剤やトイレ  
ットペーパーなどの日用  
品、服や靴が並びます。

## 困っている人に 目を向ける政治を

午前9時の開始前から  
次々と人が訪れ、医療生協  
の職員や組合員から米など  
を受け取つていきます。  
神辺、箕沖、大門など遠い  
地域や井原市から足を運ん  
だ人もおり、この日は57人  
が利用したとのこと。  
日本共産党の、みよし剛  
史市議も訪問し、利用者の  
声を聞き取りました。

## 学生支援がきっかけ

医療生協職員で、無料広  
場の運営を担う松尾智恵子  
さんは、利用者やボランテ  
ィアのスタッフに目を配り、  
笑顔で声をかけます。

「住民有志が始めた学生  
食料支援に医療生協として  
カンパしたのがきっかけ  
で、自分たちもやろうと会  
議を重ねた」と言います。

同じく運営に携わる宮澤  
千明さんは「6回で延べ4  
03人が利用した。50代か  
ら70代の男性も多く、コ  
コで仕事が減って収入が激  
減したという人や、仕事が  
見つからず何度も広場に來  
る人もいる」と話します。  
広場では生活相談も受け  
付けています。

## 無料広場のお知らせ

政治に望むことを尋ねる  
と、「本来、私たちが支援し  
なくても国がするべき。政  
治が変わって、国や市は困  
っている人にもっと目を向  
けて支援してほしい」とい  
う言葉が返つてきました。  
この指摘のとおり、コロ  
ナ禍や物価高が直撃する  
中、自助や共助まかせでな  
く公的責任を果たす政治こ  
そ必要です。自民・公明政  
権は、最大の支援策である  
消費税減税に背を向け、年  
金や児童扶養手当の減額な  
どで暮らしをさらに痛めつ  
けようとしています。  
きたる参院選で、政治を  
変えるための1票を投じる  
ことが大切です。



訪れた人と会話しながら物資を  
勧めるボランティアスタッフ